

玉川台図書館美術講演会

ゴッホの“アートによる心の癒し方”

地域特性事業の一環として開催いたします。皆様の参加をお待ちしています。

日時 7月5日(土)午後2時～4時

場所 玉川台区民センター

1階 第1・2会議室

(東急田園都市線用賀駅下車 徒歩7分)

定員 40名(先着制)

*定員になり次第、締切ります。

参加費 無料



講師 勅使河原 純 氏

勅使河原 純 (てしがわら じゅん)

美術評論家 元世田谷美術館副館長

現在、美術評論家連盟常任委員、(財)三鷹市芸術文化財団理事、川崎市岡本太郎美術館運営協議会長、日本板画院理事、中央美術学園評議員、日本チャリティ協会評議員として活躍。執筆・講演を通じ、「美術の面白さをひろく伝え、アートの充実をめざす」活動を展開している。

申込 6月28日(土)午前9時～

電話・FAX・窓口にて受付します

電話 3709-4164 (玉川台図書館)

FAX 3709-6186

*FAXの場合には、氏名・連絡先電話番号をご記入のうえ、送信してください。

主催 玉川台図書館

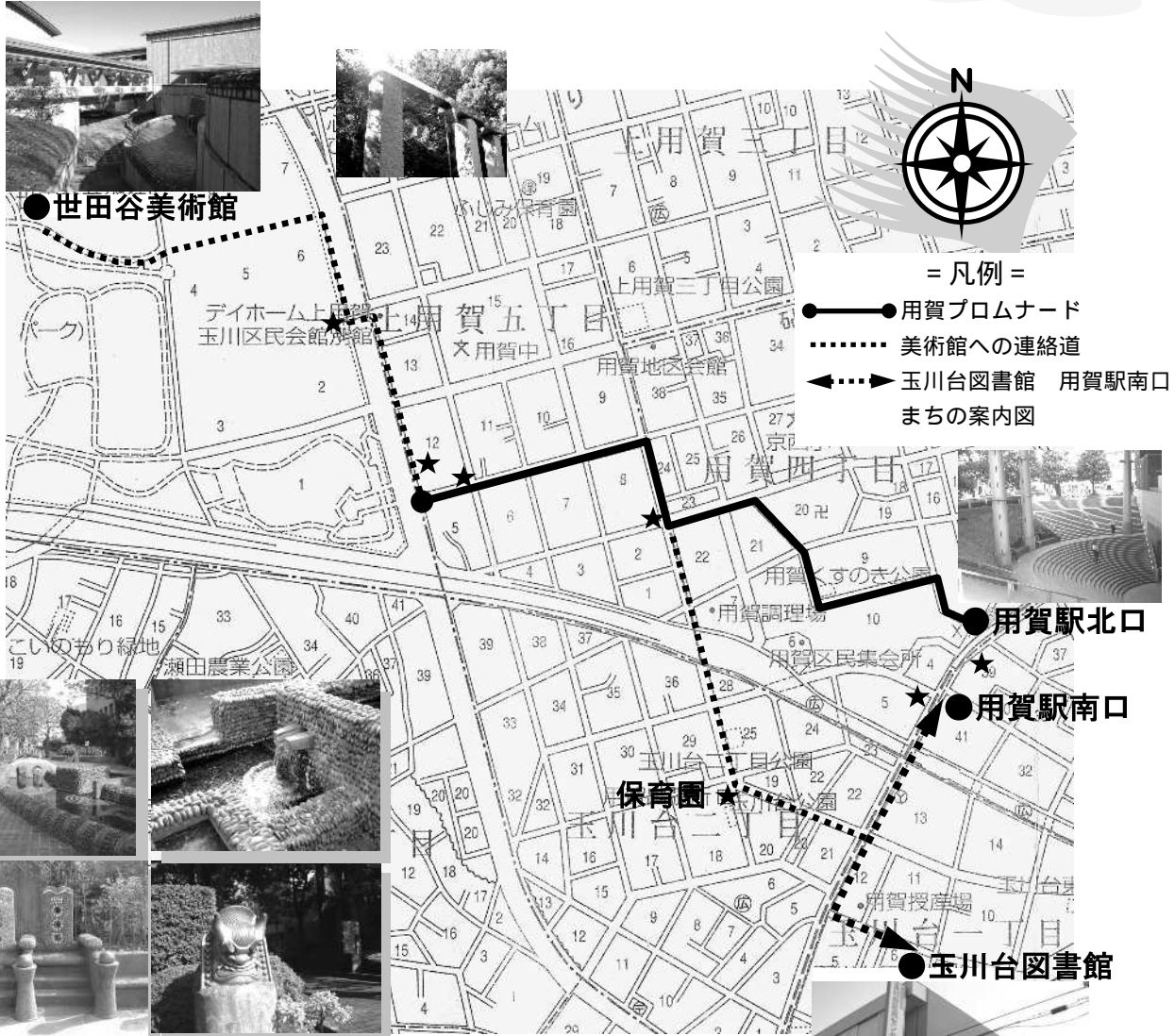
世田谷区玉川台1-6-15 玉川台区民センター3階 (裏面に地図があります)

【講演会当日のアンケートより】

- ・絵を描くことで病が良くなる、よい方向にむくという話が“なるほど”と思いました。大人のぬり絵とか。
- ・ゴッホの深刻な「てんかん」の病気の発作から心の癒し方を学ぶことが出来て、鑑賞の方法も深くなった気がします。
- ・(ゴッホの作品に)力強さ、色あい、絵の才能があったということは、精神的に一般人よりも不安な部分が多かったと思いますが、幸せな生涯であったかもしれない。先生のお話を聞いて感じました。ありがとうございました。
- ・深みのある絵画の説明(ゴッホだからか)に感銘を受けた。
- ・今日は、先生のお話・お言葉の一つ一つの間、自分なりに考えたり、思いをめぐらせたりする時間があり、とてもゆったりとした気分でお話を伺うことができました。

勅使河原 純より／絵を描くことは、ビックリするほど誰の心も健康にしてくれます。心が元気になれば生活も明るく、前向きになり、洋々たる未来が開けてくるというわけです。私の拙いお話しで、ゴッホの絵に関心をもってくれる人が一人でも増えたら、こんな嬉しいことはありません。だって美術批評というのは、優れた作家・作品への道案内役なのですから。

お散歩 マップ



用賀プロムナード【いらかみち】

用賀駅北口から砧公園、世田谷美術館まで続いている遊歩道です。敷き詰められた様々なデザインの淡路瓦には、百人一首が刻まれており「いらか道」の愛称がついています。木々のざわめきを聴きながら傍らのベンチでくつろげば、街の異なる一面が味わえるかもしれません。

世田谷美術館

☎03-3415-6011

世田谷区砧公園1-2

東急田園都市線「用賀駅」北口より徒歩17分

玉川台図書館から美術館へは、徒歩約25分

<http://www.setagayaartmuseum.or.jp/>

玉川台図書館

☎03-3709-4164

世田谷区玉川台1-6-15

(玉川台区民センター3F)

東急田園都市線「用賀駅」南口より徒歩7分

<http://libweb.city.setagaya.tokyo.jp>

『世田谷美術館資料コレクション』のご案内

玉川台図書館では、世田谷美術館に近いという地域の特性を生かして、世田谷美術館の展覧会カタログなど出版物を集めて貸し出しています。ぜひお立ち寄りください。